

令和6年度（2024年度）

管理事業名	し尿処理事業			総合計画 の体系	大綱 5 環境		
					政策 1 環境先進都市のまちづくり		
					施策 2 資源を大切にす社会システムの形成		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 2	清掃費	(目) 3	し尿処理費
部局名	環境部	予算執行 所属	事業課				
事業の目的と概要 【目的】 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び浄化槽法に基づき、し尿及び浄化槽汚泥等を適切に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的としている。 【概要】 ・し尿収集運搬処理事業 （くみ取り家庭及び仮設トイレから排出されるし尿の収集運搬、浄化槽汚泥等の搬入及び許可、浄化槽保守点検業登録簿作成） ・事業課業務グループ庁舎施設管理事業（事業課業務グループ庁舎の維持管理業務） ・公衆便所維持管理事業（高浜神社内公衆便所の維持管理業務）							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標の定義
し尿収集延件数	件	5,853	4,970	3,635	年間し尿収集延件数
浄化槽汚泥等搬入延件数	件	420	412	416	年間浄化槽汚泥等搬入延件数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】 し尿収集延件数についての評価 ・し尿収集は、地域ごとに収集日を定めた2週間に1回の定曜日収集とあわせて、工事現場等の仮設トイレの収集を行う。 令和6年度のし尿収集延件数は、3,635件(前年比:1,335件減) 内訳として、一般家庭1,213件減、仮設トイレ122件減</p> <p>【成果指標2】 浄化槽汚泥等搬入延件数についての評価 ・浄化槽清掃業許可業者から清掃届を受付け、汚泥等の搬入を行う。 清掃回数は年度により変動があり、令和6年度の浄化槽汚泥等搬入延件数は、416件(前年比:4件増)</p>	<p>【財務情報に基づいた評価】 経常費用の構成割合は、給与関係費54,883千円の占める割合が高く、ほか物件費33,470千円、負担金・補助金・交付金等6,643千円、減価償却費5,436千円などとなっている。物件費の主な内訳として、委託料が27,510千円で多くを占め、主な内容はし尿収集運搬業務委託料が26,004千円、庁舎機械警備業務委託料などの施設管理委託料が1,277千円となっている。減価償却により建物資産が5,436千円減少し、25,517千円となっている。経常収入の内訳については、使用料及び手数料のし尿処理手数料が4,718千円、一般廃棄物処理業許可申請手数料0千円（隔年更新次回令和7年度）、浄化槽清掃業許可申請手数料0千円（隔年更新次回令和7年度）、許可書再交付手数料20千円、浄化槽保守点検業登録申請審査手数料69千円、登録証書換え申請審査手数料1千円となっている。分析指標の施設老朽化比率は95.1%で、事業課業務グループ庁舎の老朽化率は高い。</p>
---	--

III 課題と今後の取組

<p>本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び浄化槽法に基づき、し尿及び浄化槽汚泥等を適正に処理し、「生活環境の保全及び公衆衛生の向上」を果たすため、市の責務として必要な事業である。公共下水道普及に伴い、し尿収集延件数や収集量が減少していく中で、し尿収集運搬業務の全面委託やし尿処理施設の廃止など、トータルコストの削減や事業の効率化を図っている。今後も、し尿収集体制の確保や浄化槽汚泥等の受入れなど安定的で継続可能な事業運営が重要で</p>	<p>ある。 事業課業務グループ庁舎は平成15年度末で廃止となった旧化学処理場（し尿処理施設）を使用しており、建設後49年が経過していることから、建替えや大規模改修が必要である。</p>
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	4,704	5,050	346
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	4,704	5,050	346
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	165,098	159,663	△5,436	その他流動負債	-	-	-
土地	134,145	134,145	-	固定負債	42,213	43,008	795
建物・工作物	30,953	25,517	△5,436	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	42,213	43,008	795
無形固定資産	50	50	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	46,917	48,058	1,141
建物・工作物	-	-	-	純資産	118,232	111,655	△6,577
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	118,232	111,655	△6,577
資産の部合計	165,148	159,713	△5,436	負債及び純資産の部合計	165,148	159,713	△5,436

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	4,308	5,085	4,809	△276
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	44	-	△44
経常収入 小計(a)	4,308	5,129	4,809	△320
給与関係費	43,901	53,577	54,883	1,306
物件費	29,748	29,416	33,470	4,054
維持補修費	11,448	297	1,312	1,015
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	6,993	6,993	6,643	△350
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	5,436	5,436	5,436	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,874	4,704	5,050	346
退職手当引当金繰入額	9,040	9,447	4,295	△5,153
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	110,440	109,871	111,089	1,218
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△106,132	△104,742	△106,280	△1,538
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△106,132	△104,742	△106,280	△1,538
一般財源充当額	93,774	91,206	99,703	8,497
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△12,358	△13,536	△6,577	6,959

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	4,308	5,129	4,809	△320
行政サービス活動支出	98,082	96,335	104,512	8,177
行政サービス活動収支差額	△93,774	△91,206	△99,703	△8,497
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△93,774	△91,206	△99,703	△8,497
一般財源充当額	93,774	91,206	99,703	8,497
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	事業課業務グループ庁舎の減価償却による5,436千円の減
【PL】 使用料及び手数料	し尿処理手数料 4,718千円 許可書再交付手数料 20千円 浄化槽保守点検業登録申請審査手数料 69千円 登録証書換え申請審査手数料 1千円
【PL】 負担金・補助金・交付金等	し尿処理負担金 6,643千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
し尿及び浄化槽汚泥等1% コスト	59円	58円	62円
実績	1,882,290%	1,884,240%	1,794,270%
コスト	円	円	円
実績			

分析内容
し尿及び浄化槽汚泥等1%あたり62円のコストがかかっている。物件費(除却工事請負費)により増加している。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	64,228	2,597	7.00
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	64,228		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		93.0	94.1	95.1	1.0
施設維持補修費比率		2.2	0.1	0.3	0.2
経常費用対公共資産比率		21.2	21.1	21.3	0.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		3.9	4.6	4.3	△0.3
一般財源充当比率		95.6	94.7	95.4	0.7